



センターWebページへ

トップ

教職員研修講座

ネットいじめ対応教員研修会

センター研究成果

ハイライト:

5月～6月にかけて県内全ての小・中・高・特別支援学校の生徒指導担当者は、当センターを会場とした「ネットいじめ対応研修会」に参加されました。ネット社会の光と影、ネットいじめの手口と現状、被害者と加害者のケアなど、即実践できる内容の研修を実施致しました。研修担当者より研修を振り返った感想をお伝えします！

目次:

教職員研修講座の状況	2
今年度の注目講座！	2
ネットいじめ対応教員研修会	3
センター研究成果	4
ライブラリ紹介	4

青森県総合学校教育センター

センターだより

巻頭言 「免許更新講習と教職10年経験者研修」

今年度から免許更新講習がスタートすることになった。本県の場合大学が実施することになっており、弘前大学の例では必修領域12時間については2日講座とし、8月中に4回（青森市2回、むつ市1回、弘前市1回）実施することになっている。選択領域については6時間の1日講座を夏季に63講座（7月に8講座、8月に55講座）実施し、教科別の講座数は国語5、社会6、算数・数学7、理科10、音楽3、美術2、保健体育5、看護3、技術・家庭4、農業1、工業2、英語5、特別支援3、幼稚園1、養護教育3、生活指導1、その他2である。冬季には8講座実施する予定である。その他青森大学・青森短期大学では8講座、明の星短期大学では4講座、青森中央学院大学では3講座、青森中央短期大学では2講座実施する予定である。



青森県総合学校教育センター
副所長 工藤 一 彌

各都道府県の状況は岩手県が全て教育センターで実施するとしているが、他は大部分が本県と同様に大学だけで実施するようである。（秋田県ではセンターの推薦講座10を免許更新講習とすることができる）免許更新には

- ①教育の最新事情に関する事項（12時間以上）
- ②教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項（18時間以上）で計30時間の講習と単位の修得が必要である。

教職10年経験者研修は、平成14年に教育公務員特例法の改正によって創設したもので、教員免許更新制導入の見送りによって誕生した。当初文部科学省は教育センターなどでの校外研修は20日を標準としていた。本県では初年度から校外研修を15日、校内研修を15日として平成15年度から実施した。今年度から免許更新制の導入にともない文部科学省は10年研修を5日ほど短縮してもよいとしている。他県の10年研修の日数を調べてみると10日で実施しているものと、15日で実施しているところがあるが、短縮の方向で検討しており、10年研修受講者の負担軽減を念頭においたものである。免許更新講習と10年研修のいずれも夏季休業の期間に実施するものが多く、受講者にとっては著しい負担増となる。10年研修の縮減と10年研修の一部を免許更新講習として読み替えることなどが考えられるが、後者の場合中核市や私学の10年研修の扱い、経費の自己負担（センターでは旅費は支給、大学は1日約6000円の講習料を徴収）など様々な解決すべき問題がある。

本県では本人の希望があれば、免許更新講習の方を優先し、10年研修を次年度以降に受講することも可能だとしている。さらに、講習の内容や研修制度を改善するために、今年度の受講者の皆さんや次年度以降の受講対象の皆さんには是非ご意見をお寄せいただきたいと思います。また、当センターの講座をよりよいものにするために教職員の皆さんのご意見やご提言をお寄せをいただければ幸いです。

トップ

教職員研修講座

ネットいじめ対応教員研修会

センター研究成果

【今年度の注目講座と
講座紹介について】

センターの研修を身近に感じてもらい、受講の参考としてもらうために、実際の研修の様子を講座担当者から紹介します。



講座番号 207 国語科コンピュータ活用講座の様子



講座番号 502 特別活動研修講座の様子

平成21年度 教職員研修講座の状況

【平成21年度研修講座】

当センターでは、青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行っています。研修は、「初任者・新規採用者」「経験者」「職務」「教科」「教科外」「特別」と体系化して構築しており、今年度の講座数は207となっています。

研修講座の編成に当たっては、①学習指導要領の趣旨・内容の重視②「教育の情報化」に対応した内容③学校が直面している教育課題への対応④指導と評価の一体化についての内容⑤「個に応じた指導」「特別の支援を必要とする子どもの教育」についての内容⑥小中高の12年間の「継ぎ目のない教育」の推進を重点とし、講座内容の評価・見直しを図り、受講者のニーズとライフステージに合わせた研修講座を目指しています。

【追加申込みについて】

「職務」「教科」「教科外」それぞれの研修において、講座開始日の1か月前まで追加申込みを受け付けています。希望する講座があれば、講座担当者まで、まずは電話連絡をお願いします。なお、追加申込み可能な講座を、当センターのWebページの「追加申込みについて」に掲載してあります。

今年度の注目講座！

講座番号 207 国語科コンピュータ活用講座

「国語」と「コンピュータ」というのは一見するとかけはなれた組み合わせのようですが、「青森県の文学と教材制作」というサブタイトルのとおり、二兎を追うことを目的とした講座です。1日目は青森県ゆかりの作家や文学作品をテーマに、県内の文学館や作品の舞台となった場所へ実際に取材に行きます。その結果をもとに2日目はコンピュータを使って教材を制作し、あわせて授業におけるコンピュータの活用やメディアリテラシーについても理解を深めます。

今年は太宰治をテーマに、青森県近代文学館や五所川原市の斜陽館、雲祥寺、芦野公園を巡ります。生誕100年の今年しか見ることのできない貴重な資料などを、講師の青森県近代文学館・櫛引洋一室長に解説をいただきながら、じっくりと取材する予定です。まだ定員に余裕がありますので、追加申込みが可能です。

現場に行ったからこそ得られる感動を子どもたちに伝える教材作りに挑戦してみませんか？

講座番号 502 特別活動研修講座

今年度は、「学校行事」がテーマです。講座は、講義、協議、発表の3つの内容で構成されており、発表では、小学校、中学校、高等学校の先生方からお話いただきます。他の校種の実践に触れ、意見を交換する機会は学校現場ではなかなか得られないもので、毎年好評です。また、「生きる力の育成と特別活動の役割」と題して講義いただく國學院大学の宮川八岐教授は、小学校長、文部省教科調査官、文部科学省視学官などを歴任され、学習指導要領の作成にも深くかかわってられました。特別活動を通して、いかに子どもたちの可能性を引き出していくかについて、講義をいただきます。協議は、学校行事を運営する上での問題点を出し合い、解決する方法をお互いに考えていく場であり、活発な議論が期待されます。2日間、特別活動のもつ役割をじっくり一緒に考えていきましょう。（追加申込みは9月7日までです。）

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

【平成21年度研修講座申込状況】(延べ数)

研修体系	講座数	申込者数
基本研修	60	2324
初任者研修	34	1164
新規採用者研修	10	59
教職経験5年研修	7	207
10年経験者研修	9	894
職務研修	17	722
専門研修	125	2750
教科研修	58	841
教科外研修	67	1909
特別研修	5	26
合計	207	5822

ネットいじめ対応教員研修会の概要

この研修会は、ネットいじめに適切に対応するため、児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育の推進を図る目的で実施した県教育委員会の事業です。小学校から高等学校および特別支援学校の生徒指導担当の先生方を対象に、全国webカウンセリング協議会 安川雅史理事長からの講演と産業教育課による演習、教育相談課による講義を実施しました。

【演習】「情報モラル教育の指導法」 産業教育課 平川正晃

情報モラル教育の指導法として、ネットの特性を理解するとともにサイト検索の演習を通し、掲示板やブログなどの実態を把握し、学校の実情に合わせた指導の展開が必要であることを確認しました。さらに、教員が指導に向けて校内研修や保護者説明会で活用できる資料の解説と校種別の授業展開事例について研修しました。また、研修会後に即利用できるように指導資料をCDでも配布しました。

<研修会での項目>

- ・校内研修や保護者への情報提供に活用できる資料
- ・現状の「掲示板」「プロフ」「ブログ」の検索と削除対応
- ・ビデオ教材を活用した校種別の授業展開例
- ・情報モラル教育に取り組む際の観点
- ・インターネット上の資料の有効活用

<受講者の声>

- ・本校の児童は所持している子は非常に少ないので、まだいいと思っていましたが、今日のお話を聞いて、持つ前でも必要だと感じ、資料を活用したいと思います。
- ・演習の中で、初めて学校裏サイトを見ました。今まで掲示板を見たことがなかったので参考になりました。
- ・スライドや教材・資料はすぐに使えるものだと思います。（保護者会・授業で）
- ・スライドや指導案も良く工夫されており、すぐに役立つ内容であった。今後情報などの授業で活用してみたいと思う。
- ・個人の持っている知識に差があることから、先生方、親、生徒と分けて活用したいと思います。
- ・CDに資料が入っていて、すぐに取り出せるのはとても助かります。



大好評だった振り分けシート。サイトを目的別・視覚的に分類しました。県教育委員会のホームページからもダウンロードできます。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/netizime3.html>

【講義】「ネットいじめに対する学校の対応」 教育相談課 島浦 靖

教育相談課においては、『「ネット上のいじめ」に対する学校の対応』について講義しました。文部科学省の平成20年11月発行『「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集（学校・教員向け）』を基に構成した内容は、以下の通りです。

- ①「ネット上のいじめ」とは
 - ②「ネット上のいじめ」に関する4つの提案
 - ③「ネット上のいじめ」に対する学校の基本姿勢
 - ④「ネット上のいじめ」の早期発見
 - ⑤「ネット上のいじめ」等の事例と対応
 - ⑥児童生徒と保護者への対応
 - ⑦保護者への啓発
- 問題が起こったらどう対応するかということが、講義の中心であったわけですが、未然防止・早期発見のためには、リテラシー指導をしっかりと行う、保護者への啓蒙を図る、日頃の教育相談体制を整える等の対策も大切なことです。特に、ケータイを持っていない、あるいは持ちはじめの時期に当たる小学校段階からの指導が有効であると考えています。

研修を担当した我々も、より良い対応には学校の努力とともに、保護者、関係機関等も含めた人々の協力が必要であるとの認識を改めて強くしました。今回研修された先生方が、講義内容を基に校内における研修を行い、まずは、全教員に知識・理解を深めていただくことを期待しています。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



全国webカウンセリング協議会理事長 安川雅史氏による全体講演の様子



情報モラル教育の模擬授業を体験



実際にプロフを検索する様子



研修会で使用した配布資料（授業情報システムからもダウンロードできます。）

トップ

教職員研修講座

ネットいじめ対応教員研修会

センター研究成果

平成20年度のセンター研究の中から、学校教育で参考となる主な研究について、それぞれ研究の主題及び要旨を紹介します。

◆特別支援教育課

<主題>

発達障害のある児童生徒が在籍する学校に対する「学校コンサルテーション」の試み

<要旨>

本研究は、学校コンサルテーションの支援モデルを提案するものである。高等学校に対して特別支援教育に関するアンケート調査を行った結果、発達障害のある生徒への支援体制の整備が必要であることや特別支援教育に関する知識が不足していること等が分かった。そこで、協働課題解決型と情報提供型の二つの支援モデルを想定し、学校コンサルテーションを実施した。実施前と実施後のアンケート調査で評価したところ、実施後の平均値が有意に高いことを認め、学校コンサルテーションの有用性が明らかになった。また、機関間連携の重要性も確認された。

◆高校教育課

<主題>

化学的な事象を理解し表現する力を向上させる効果的なデモンストレーションの導入について
－興味・関心を引き付け、化学的事象を理解させる教師力の向上を目指して－

<要旨>

高等学校における化学の授業では、授業時間の制約等で実験に費やす時間は限られている。そこで、PISA・TIMSSの結果および教員の実験に対するアンケート結果を踏まえながら、現状と課題を把握し、生徒の化学的事象に対する興味・関心を引き出す効果的なデモンストレーションを導入し、そのデモンストレーションに直結した内容を理解し表現できるような授業の中での演示実験の指導法について考察するものである。

トップ
教職員研修講座
ネットいじめ対応教員研修会
センター研究成果



センター研究発表会の様子

ライブラリ紹介

－新着情報－

今年度第1次購入分の新着図書の一部をご紹介します。新学習指導要領の解説書や、移行措置に対応した実践集など、今後ますます充実させていきたいと考えております。新着図書の一覧は、センターwebページ「お知らせ」からご覧いただけます。また、センターで所有する平成20年度の教育資料（各教育センター・研究機関・大学等の研究紀要等）の目録も掲載しておりますので、あわせてご活用ください。

書名	編著者	発行・出版社
PISA型読解力が絶対育つ授業実践事例集	有元秀文	教育開発研究所
最新小学校理科授業完全マニュアル 2011年新学習指導要領に対応	佐巻健男 他	学習研究社
英語教育熱 ー過熱心理を常識で冷ますー	金谷 憲	研究社
知ってる？発達障害 ワークブックで考えよう	細川佳代子	ミネルヴァ書房
美術と福祉とワークショップ	高橋陽一	武蔵野美術大学出版局
横着じいさんの超かんたん水耕栽培	伊藤龍三	文芸社
知っておきたい Webデザイン きほんBOOK [改訂版]	宮窪伸治	新星出版社
子育てに活かす ABAハンドブック ー応用行動分析学の基礎からサポート・ネットワークづくりまでー	井上雅彦他	日本文化科学社
これで安心「保護者とのトラブルへの対応」 保護者を味方につける55の秘策	土田雄一	教育開発研究所
のうだま ーやる気の秘密	上大岡トメ 池谷裕二	幻冬舎

編集後記

先日、懐かしいバラエティ番組が特別番組として放映されていた。その番組は私の小学校時代に絶大な人気を博していたが、母親から「こんなのばかり見ていたら頭がおかしくなる」と言われ、あまり見せてもらえなかった。しかし、今になって考えてみると、さほど有害な番組ではなかったように思う。現在インターネット上には、当時では考えられなかった有害な情報が溢れている。また自ら情報発信でき、瞬時に複数の人に情報を伝達できる利便性の影には、新たないじめ、トラブルに発展するケースが後を絶たない。今回のネットいじめ対応教員研修会をきっかけとして、教員間のネットワークをさらに広げ、子どもたちを守るためのサポート体制強化の必要性を強く感じた。
(広報委員 須藤貴則)

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」